

ラベンダーの香りあふれる街並みへ 6/17

日本のラベンダー栽培発祥の地、南沢地区で、ラベンダーの苗の植栽が行われました。同地区のまちづくり協議会が、ラベンダーを復活させようと平成14年から行っているもので、各町内会に苗を配布し、公園の花壇や歩道の植樹升に2,500株もの苗を植えました。参加者は、紫色の花が風に揺られ、ラベンダーのいい香りが漂う街並みを思い描きながら、丹念に作業を行いました。



◀きれいに咲くのが楽しみだ

ふれあい 写真館

今回のラベンダーの植栽では、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により1,500株のラベンダーの苗や肥料などを購入しました。この事業は、同センターが全国自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を目的として行われています。

今回の植栽により、南沢地区のラベンダー復活への一層の発展に寄与することが期待されます。

地道な活動に表彰状 6/20

藤野地区町内会連合会が、環境省から「地域環境美化功績者（団体）」として表彰されました。長年にわたる、歩道の植樹升への植栽やガーデニングコンテストなどの「花いっぱい運動」が認められたもの。同連合会の田中義一会長が市役所を訪れ、上田文雄市長に受賞を報告しました。



▲上田市長へ喜びの受賞報告

落ち葉のリサイクル 6/27

真駒内五輪児童会館で「落ち葉のリサイクル」が行われ、約20人の子どもたちが参加しました。昨秋、エドウィン・ダン記念公園の「落ち葉の貯金箱」にためた葉をじっくりと観察。葉は、微生物の活動でボロボロになり、においては土のよう。子どもたちは手で感触を確かめ、落ち葉が土に還ることを学びました。



▲どんな虫がいるのかな？

広 告 欄